（別添資料１）

事業所名　児童発達支援TSUGUMI堀止教室

# 支援プログラム

作成日　2026 年　9 月　1 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | | 一人ひとりの個性を尊重し、その子が本来持った能力を最大限に発揮できるサポートをする | | |
| 支援方針 | | 一人ひとりの発達段階及び特性に応じた支援を行い、その可能性を引き出すことを基本とする。<br>個別療育を基本とし、児童が安心して取り組める環境の中で、自己肯定感を図り知力・身体・心をバランスよく育む。 | | |
| 営業時間 | | 10 時 00 分から 12 時 00 分まで<br>12 時 15 分から 17 時 30 分まで | 送迎実施の有無 | あり　(なし) |
| | | 支　援　内　容 | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 自立に向けて基本的な動作（清潔・着脱・排泄）の獲得と主体性の取得を目指す | | |
| | 運動・感覚 | 運動療育を基にしながら楽しい遊びを通して体幹・姿勢の安定・体力・身体機能の向上・バランス感覚の改善・充実（感覚統合）を図る | | |
| | 認知・行動 | 子ども一人ひとりの特性を理解したうえで目・耳・手指等の感覚から得られた情報から自分を取り巻く状況を認知し、適切な行動へ繋げられるように支援する | | |
| | 言語コミュニケーション | 職員との応答的なかかわりを通じて、言葉や表情・身振りなど基礎的なコミュニケーション能力の向上を図る | | |
| | 人間関係社会性 | 遊びや課題等を通じて、動きを模倣することや見立て遊び・ごっこ遊び等により、子どもの社会性の発達を図る。また、一人遊びから役割分担やルールの理解や順番を守ること等も学べるように手立てを図る | | |
| 家族支援 | | 保護者がいつでも気軽に相談できるような雰囲気と関係性を構築し適切で、きめ細やかなケアに努める。日々の情報交換や連絡アプリの活用、定期的な面談等保護者支援に務める。 | 移行支援 | 子どもの通園先と情報共有・連携に努める共に就学への円滑な移行をサポートします。 |
| 地域支援・地域連携 | | 子どもの健やかな支援育成のため関係機関や医療機関とも必要な情報を共有し連携を図る | 職員の質の向上 | 園内・園外研修に参加し知識・技術を向上させる。自己評価シートにて振り返りも行いより良い支援につながるよう活用する。 |
| 主な行事等 | | | | |